

鶴が丘だより

年のはじめに

創立51周年、その先へ
MILACCOく未来はここから

院長 後藤晶子

謹んで新春のご挨拶を申し上げます。コロナ禍ではありますが、行動制限のない初めの新年を迎えました。時代は変化しています。皆様いかがお過ごしでしょうか。日頃は病院の運営にご理解とご協力を賜り、誠に有難うございます。次の時代も見据え、今年の新年号はあえてコロナ以外のことに触れて参ります。

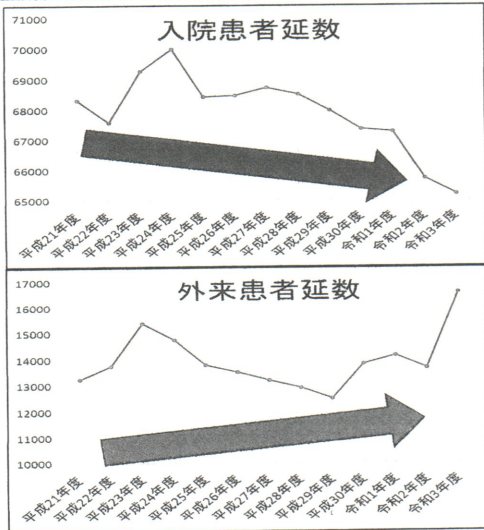
◎医療の動向、患者様の動き

◆変わったことは何か
全国の精神科病床は平成4年を

ピークに38万床から28万床に減床しています。そのほとんどは統合失調症の方で、特に首都圏で顕著であり、訪問看護やヘルパー、グループホームの整備により、今後促進されることと見られます。

外来は逆に増加傾向で、平成4年と比較し気分障害80%増、認知症400%増です。統合失調症は30%増で、入院の減少分が外来にいらしていることがわかります。いずれもコロナで拍車がかかりました。

新薬の発売は一時のラッシュほどではありませんが、副作用を減らし、より「飲み心地」に注力したものが多く、続けやすくなりました。またAIの研究が進み、精神科においても表情だけで80%



程度、うつや認知症がすむに予測できるようになってきているそうです。

凄いですね。

当院でも慶應太子が研究を行って、います。ご協力頂けるとなれば、ぜひ担当医までお声かけて下さい。

◆変わったものは

それは初診、入院に至るまでの日本人とご家族様の葛藤や辛さとして人の手や目を介した人と人との触れ合いが、日進月歩の現代においても、依然入りな力を持つことと見られます。より手厚くと思おう反面、今後の日本の人口減が人材確保にどう影響するかの危機感を感じるところです。

◎昨年の当院の変化

上図にお示しします通り、近年は世相をそのまま反映した変化を遂げています。

昨年の病床稼働率は85〜96%と大きく上下しました。感染症対策で試験外泊を最小限にしているため入院期間はさらに短縮化していること、また患者様も以前よりとても調子を崩されてから入院される院、というケースが増えてきている関係で予測不能な動きとなっております。

◆病院家族教室の再開

啓発活動として開院時より大切にしてきた家族教室が、3年

ある日の
鶴が丘

あけまして
おめでと
うござい
ます

鶴が丘だよりは、当院が開院した1971年より毎月発行している広報紙です。当院ホームページではバックナンバーもご覧いただけます。



鶴が丘ガーデン 検索

これからも皆さまに様々な情報を提供できるとともに、精進して参ります。今後とも変わらぬ御指導御鞭撻のほど、よろしくお願ひ申し上げます。

編集委員会一同

がりの昨年11月に開催でき、60名以上がご参加下さいました。おまじに少人数の短期集中家族講座「丘の上の家族のつどい」はweb上で再開してあります。したが、やはり直接お会いできると何気ない会話や空気を共有でき格別です。

特に嬉しかったのは時々外来を顔合わせるご家族様同士が会釈される場面や、「ここは病気を隠さず心が解放される場所です」とご家族様にエピソードを添えて頂けたことです。

「支える人を支える」というテーマでしたが、私達も支えて頂いた気持ちです。別号で後日内容はお届けします。

◎ 私たちの新たな取り組み

ここ数年温めていたプロジェクトをひとつづつ開始させる予定です。

◆ MILACCO プロジェクト

「未来はここから」の意味を込めて名付けられた、地域生活支援の複合事業の総称です。

第一に、市内初となる病院による相違支援事業所(精神科のカマナーシヤールにあたる事業)を

開設いたします。情報が多く集まりやすい病院が担うことにより、依然高い地域とのハードルを下げ、よりその人に合ったプランを提案致します。

第二に、訪問看護をステーション化致します。これにより、長津田いこいの森林診療所の患者様へのサービスも可能となります。従来通り自立支援医療制度が適応されますので、ご安心下さい。時期が近付きましたら、現在利用されている皆様へは別途ご説明致します。

◆ 障がい者雇用への取り組み

就労支援を目指す一環として、病院内での障がい者就業を強化する取り組みを始めます。特例子会社の元幹部の方にも相談役に入って頂き、教正備を進めていきます。

現在は研修を重ね、院内の業務の取り出しを行い、今春から実習の受け入れを予定しています。

他の患者様の個人情報やアクセスの課題から、当面は院外の方からの受け入れとなりますが、今後ノウハウを蓄積

し、ティケア等で生かせるよう努めてまいります。

◎ 「鶴が丘だより」の継続

615号(12月)は51+8、つまり52年目の発信となります。50号の時は活字をあえて牛書き化していく作業を続けるか、院内で議論となりました。しかし心の病で認知機能の低下した患者様には、牛書きの方が読みやすいのではないか、ひとりひとりの方に合わせた「牛作りの医療」の志を伝えるには、やはり現行で…とより、今年も私が自筆で新年に書いております。皆様へ真心も一緒に届きますように。

◆ インスタグラム始めました

対照的に若い方のトレンドにも合わせてというところ、ティケアスタッフがインスタグラムを始めめております。どれも素敵で楽しそう。通所されている方もこれからの方も是非一度ご覧下さい。

盛り沢山な一年となりますが、引き続き皆様本年も宜しくお願ひ申し上げます。

今月の…

いろはカルタ

(け) 今日やり過ぎたら明日は手を抜く

(ふ) 不安になったら流れにまかす

入院患者様の面会・外出泊について

コロナウイルス感染症状況が刻一刻と変化しており、その都度対応を変更しております。ご来院前にはお電話にて入院病棟へお問合せください。

医療法人社団 鶴永会

鶴が丘ガーデンホスピタル
TEL:044-988-3121
東京都町田市三輪緑山2-2133-1
長津田いこいの森診療所
TEL:045-507-7656
神奈川県横浜市緑区長津田4-11-14